

作業中の目安は、

2014.3.31改定

③「ジュ、ジュ」という音や煙が出ます

この熱ハサミは、熱がでます。
でも、熱が冷める場合があります。

1. ガスが切れた場合
2. 作物の汁液による温度低下
3. 触媒の寿命 もしくは 水濡れなどによる劣化
4. 銅パイプのエゼクターの目詰まり
5. 極度の低温環境(10℃以下でのご使用)

触媒側の刃内側



触媒反対側の刃内側



20℃環境で
レベル4で5分後

- 250℃前後
- 200℃前後
- 130℃前後
- 110℃前後

刃に温度が充分ゆき渡っている時は、
「ジュ、ジュ」と汁液が蒸発する音や蒸発する煙がでます。

温度が下がってくると、特に「触媒の反対側の刃が濡れる」ようになります。

その場合は、作業を中断して、

1. 「触媒が赤くなっていることを確認」して
2. 「熱が回復するまで、刃を閉じて」ください。
3. 「触媒側の熱が、反対側の刃に伝わって、回復します」